

2011年1月20日

総務大臣 片山 善博 殿  
防災大臣 松本 龍 殿

日本共産党島根県委員会  
委員長 中林 隆  
県議会議員 尾村 利成

## 山陰豪雪災害に関する緊急申し入れ(島根県)

年末から年始にかけて山陰両県をおそった記録的な大雪によって島根県東部では、ハウス倒壊などの農業被害が9億円を超え、漁船転覆や浸水は186隻、道路は各地で寸断され集落が孤立し、JR、バス路線は運休が相つぎました。年始の観光客は、どこも大幅に落ち込み、「松江フォーゲルパーク」は前年比で9割も入場客がダウンし、ホテル、旅館などの宿泊施設では、宿泊や宴会のキャンセルが続出しました。電話、電気、水道といったライフラインも寸断され被害が多発、孤立地区まで発生しました。

交通渋滞に関しては、鳥取の国道9号線の大渋滞が問題になりましたが、島根でも安来・松江間の9号線が大渋滞を起こし、「赤旗」輸送のトラックは、安来から松江まで来るのに通常の10倍の5時間もかかりました。山陰の唯一の幹線国道の除雪が遅れたことは国として反省が求められています。

また、今回の大雪にたいして、市町村合併が進み各支所機能が弱体化したことも、対応のおくれに拍車をかけました。

党調査団は、ただちに現場視察や被害状況の把握につとめ、水没漁船の漁業者からは「エンジンバッテリーの交換で60万円近くかかる。その上、船を引き上げるクレーン車のレンタル代は1日6万円。もう漁業は続けられない」、ハウス倒壊の生花栽培農家からは「より強いハウスにすると1棟150万円以上かかる。農業続けるには借金するしかない」などと悲鳴の声が寄せられました。

こうした状況をふまえ、以下の項目について要望します。

1. 激甚災害への指定基準の緩和、弾力的運用をおこなうこと。
2. 除雪費用に対する弾力的な財政支援をおこなうこと。
3. 島根県では7地区が孤立し、交通が寸断され停電、断水、食料不足など生活に大きな支障が生じました。合併によって支所機能が弱体化したことも混乱を大きくしました。こうした点をふまえ、災害時のへき地や高齢者を孤立させないシステムの構築を講じること。

以上